

# 倉岡生活改善センター等改築機械設備工事 設計図

図 面 番 号	図 面 名 称
M - 00	タイトル、図面リスト
M - 01	特記仕様書
M - 02	工事区分表
M - 03	衛生器具表
M - 04	屋外配管図
M - 05	衛生設備平面図
M - 06	浄化槽設備詳細図－1
M - 07	浄化槽設備詳細図－2
M - 08	浸透槽詳細図
M - 09	冷暖房・換気設備機器表
M - 10	冷暖房設備平面図
M - 11	換気設備平面図
M - 12	【旧屯所】解体工事 平面図



株式会社

石川設計

訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-41 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 一級 青森県知事登録 第397号	 株式会社 石川設計	校印 長畑	主任担当 梶引	担当 杉山	担当 佐藤	No. 2553-00 設計年月日 R8. 3	工事名 倉岡生活改善センター等改築機械設備工事	図面番号 M-00	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
								図面名称 タイトル、図面リスト	縮尺 NS	

[illegible]

機材の承諾図

環境への配慮

足場その他

埋戻し土及び盛土

容量等の表示

電源周波数

電動機

耐震施工

機械設備工事機材承諾図様式集（令和4年版）によるほか、監督職員の指示による。

（１）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。

ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。

（２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のからまてを満たすものとする。

合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、平板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用しなものとす。

別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。

本工事で設置する。

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり置方法又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

内部足場（種、種）外部足場（種、種）

イ）管周囲の保護山砂の類（ただし、コンクリート管の周囲は根切り土の良質土）

ロ）埋戻し土及び盛土根切り土の中の良質土○山砂の類

（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

（２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。

50 Hzとする。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載がないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。

ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

（１）設計用水平地震力

機器の重量〔kN〕（水櫃類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

	機 器 種 別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。

・水櫃類にはオイルタンクを含む。

・重要機器は次にによる。

【名称： 、記号： 】 【名称： 、記号： 】

【名称： 、記号： 】 【名称： 、記号： 】

【名称： 、記号： 】 【名称： 、記号： 】

【名称： 、記号： 】 【名称： 、記号： 】

【名称： 、記号： 】 【名称： 、記号： 】

（２）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とする。

総合運転調整

弁等のサイズ

建物等導入部の変位吸収

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。

風量調整水量調整室内外空気の湿湿度の測定

室内気流及びじんあいの測定騒音測定

飲料水の水质の測定：費用（○本工事○別途）

雑用水の水质の測定：費用（○本工事○別途）

特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

図示の箇所に施工する。

施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配管要領（一）、（二）による。

（ a ）（ b ）（ c ）

図示による。

地中埋設機等

配 管

1）地中埋設機（図示の位置）要 不要

2）埋設表示テープ（排水管を除く）要 不要

（１）ステンレス鋼管の接合は、下記による。

呼び径60s以下（ SAS322を満たした継手 ○ ）

（２）溶接部の非破壊検査 不要 ○要（ ）

技能士の適用

他工事との工事区分

配管施工（配管工事）建築架金施工（ダクト製作及び取付け）

熱絶縁施工（保温工事）

冷凍空調調和機器施工（チリングユニット、パッケージ型空調調和機の据付け及び整備

工事区分表による。

屋内露出の保温外装は、合成樹脂製カバー2とする。

空気調和設備

設計温湿度

ばい煙濃度計

煙 突

銅板製煙道

ダ ク ト

風量測定口

ダンパー

配管材料

弁 類

鋼管用伸縮管継手

温 度 計

瞬間流量計

チャンパー

保 温

塗 装

換気設備

準拠事項

開放形湯沸器用排気フード

厨房用排気ダクト

厨房用排気フード

多湿箇所の排気ダクト

保 温

ダ ク ト

排煙口の形式

排煙口開放及び復帰方法

排煙風量測定方法

保温を行ない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管（銅管）、ダクトには塗装を行う。  
図示による。

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編 1.5.1表 4.1.11による。

機器等の取扱い方法及びシステムを書いた図面（図面A1の図面（ 枚）をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。  
屋外に設置する危険物表示板等の材質はアルミニウム製とする。

		外気条件		屋内(調整目標)			
		温度(DB)	湿度(RH)	一般系統			
夏 季	9時	30.2	64.5%	26	50 %		%
	12時	32.1	58.3%				
	14時	32.0	60.0%				
	16時	31.4	62.3%				
冬 季		-5.5	83.7%	22	- %		%

取付箇所は図示による。

別途 本工事（銅板厚 mm、高さ m以上）

板厚は煙道径300mm以下は3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。  
煙道を設置する場合、ばいじん測定口（口径100、タッピング）を設けること。  
（煙道径400mmを超えるものには、排煙口に蜂窩を取り付けること。）

低圧ダクト（長方形ダクトは コーナポルト工法  
（長辺の長さ≥1,500mm以下の部分） ○アングルフランジ工法）  
○高圧1ダクト（適用範囲は図面による）

取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。

1）防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式（定格入力はDC24V、0.7A以下とする。）  
2）ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式

イ）冷温水管 配管用炭素鋼鋼管（白）  
ロ）冷却水管 配管用炭素鋼鋼管（白）  
ハ）蒸気管（給気管） 配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（還管） 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）(Sch40)  
二）油管、油用通気管（一般） 配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（土中） ポリエチレン被覆鋼管  
ホ）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への補給水管  
配管用炭素鋼鋼管（白）  
ヘ）空調用補給水管 ステンレス鋼管（SUS304）  
ト）空調用排水管 配管用炭素鋼鋼管（白）  
○優質ポリ塩化ビニル管（VP）  
チ）冷媒管 断熱材被覆銅管（難燃性）

5 K  
呼び径65 A以上の弁は、バクフライ弁とする。  
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

ベローズ形 スリーブ形

円形指示計とする。

止水コック付とする。（ 固定形 巻形形）  
巻形形の流量指示部 40 A用 個、100 A用 個、250 A 個）を付属。

イ）内貼を施すチャンパー類の表示寸法は、外形寸法を示す。  
ロ）空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系統で消音室内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。  
ハ）外壁に面するガリリに直接取り付けるチャンパーは雨水の滞留のないように施工する。

イ）蒸気配管は保温不要とする。（ 屋内露出は除く）  
ロ）建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4表 2.3.2 温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）  
ハ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4表 2.3.3 E 2・（ハ）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。  
二）遠気ダクトの保温 不要 要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）  
ホ）外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 不要 不要  
ヘ）排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。（チャンパーボックスを含む）  
ト）冷媒管の保温外装  
居室露出部 保温化粧ケース（樹脂製）  
屋外 保温化粧ケース（樹脂製）  
保温化粧ケース（ 亜鉛めっき銅板製 ○SUS製）

次の部位に使用するダクトには塗装を行う。  
制気口ボックス内面（居室・便所の見えかき部）  
図示による。

[ 空気調和設備の当該事項に準ずる。 ]  
ダクト 風量測定口 ダンパー  
チャンパー 塗装

別途 本工事

アングルフランジ工法とする。  
亜鉛鉄板 ステンレス鋼板（SUS304）  
（板厚は衛生器具空気調1の厨房排気ダクトの板厚表による）

イ）材質（天幕とも） ステンレス鋼板（SUS304）  
ロ）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで） 取り付ける 取り付けない  
ハ）フードコック 取り付ける 取り付けない

イ）厨房系、浴室（シャower、脱衣室を含む）系統のダクトのシールは「標準図」シールの施工例（一）、（二）のNシール＋Aシール＋Bシールとする。  
ロ）水抜き管 要 不要

空気調和設備の当該事項による他、全熱交換器の給気ダクトの保温を行う。

亜鉛鉄板 普通鋼板（厚1.6mm）

パネル形（ 天井取付 壁取付）  
スリット形（ 天井取付 壁取付）  
ダンパー形（ 天井内取付）

電気式・遠隔操作 要 不要）  
排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編 1.5.1表 4.1.11による耐熱、耐火ケーブルとする。

建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

自動制御設備	システム構成 その他	別図による。			
	計装用配線	電線及びE Mケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。			
衛生器具設備	衛生器具ユニット	別図による。			
給水設備	量水器	親メーター（ 貸与品 買取り） （ 現地表示式（直読式）） 子メーター（ 貸与品 買取り） （ 現地表示式（直読式））	遠隔表示式（ 電文式）	パルス式）	
	量水器併	イ）親メーター用 水道事業者指定品 ロ）子メーター用 水道事業者指定品	「標準図」量水器併		
	配 管 材 料	イ）一般配管 ステンレス鋼管（SUS304） 塩ビライニング鋼管（ VA VB） ポリ粉体ライニング鋼管（ PA PB） ロ）土間配管（厨房、浴室等のシンダー内含む） ステンレス鋼管（SUS316） ポリ粉体ライニング鋼管（ PD） 塩ビライニング鋼管（ VD） ハ）屋外地中 ポリエチレン二層管 水道配用水ポリエチレン管			
	弁 類	イ）水道直結部分 10 K ロ）その他の部分 5 K ハ）呼び径65 A以上の弁は、バタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。			
	不凍水栓柱	化粧ケーシング（ アルミニウム合金製 合成樹脂製）	伸縮式		
	給 水 栓	イ）屋内（ 一般水栓 耐寒水栓） 屋外（ 耐寒水栓 一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沬式とする。耐寒水栓はJWWAの認証品とする。			
	埋設深さ	イ）一般敷地内（0.6m以上） ロ）敷地内車両通行部分（ m以上）			
	保 温	屋外露出管（弁、フレンジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 e2・（ハ）とし厚さは呼び径2.5 mm以下は5.0 mm、呼び径3.2 mm以上は4.0 mmとする。			
	引込納付金等	要（ 本工事 別途）	不要		
	排水設備	配 管 材 料	イ）屋内汚水配管（屋外第1棟まで） ロ）屋内雑排水管（屋外第1棟まで） ハ）屋外汚水、雑排水管 ニ）通気管 ホ）ポンプアップ排水管（汚水系） （雑配水・湧水系）	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ビル管（RF-VP、衛生器具との接続部分に限る） 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 配管用炭素鋼鋼管（白） 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（100 以上はVU） リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（車道部以外） 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（圧送MD） 配管用炭素鋼鋼管（白）（圧送MD）	
滴水試験継手		図示の位置に取り付ける。			
台所流し等の排水管		台所流し等の床上露出部分の配管は、ビル管（RF-VP）でもよい。			
放流納付金等		要（ 本工事 別途）	不要		
配 管 材 料		ステンレス鋼管（SUS304） （膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む）			
給湯設備	弁 類	給水設備の当該事項による。			
	保 温	湯沸器の給排水筒（二重管）のいんべい部保温を行う。 （保温の種別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5のh・（イ）・とする）			
消火設備	配 管 材 料	イ）屋内消火栓配管 一般 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 外面被覆鋼管（SGP-VS） ロ）連結送水配管 一般 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） 地中 外面被覆鋼管（STPG-370VS）			
	屋内消火栓種別	1号消火栓	易操作性1号消火栓	2号消火栓 広範囲型2号消火栓	
	屋内消火栓開閉弁	10 K			
	地中埋設配管の接合	外面被覆鋼管の呼び径100 A以下はねじ接合とする。			
	保 温	イ）充水タンクの保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 鋼板製タンクの項による。 ロ）消火配管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。 ハ）屋外露出管については給水管に準ずる。			
	不活性ガス消火設備	別図による。			
	泡 消 火 設 備	別図による。			
	ガス設備	配 管 材 料	イ）一般 ガス事業者の規定による 配管用炭素鋼鋼管（白） ロ）地中埋設部 ガス事業者の規定による ガス用ポリエチレン管 ポリエチレン被覆鋼管		
		親メーター	実測式	パルス式	貸与品
		子メーター	実測式	パルス式	買取り
ガスボンベ		貸与品（ 50kg 本） イ）集合設置 「標準図」液化石油ガス容器廻り配管要領による 本立て ロ）転倒防止等 「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領 （ a ） （ b ） 容器固定具をG L + 300に追加設置する。			
バルクタンク		有 無			
ガス漏れ警報器		本工事（図示の箇所に取付ける）（ 分離形 一体形） 別途工事 外部出力端子（ 有 無）			
埋 設 深 さ		イ）一般敷地内（ . m以上） ロ）敷地内車両通行部分（ . m以上）			

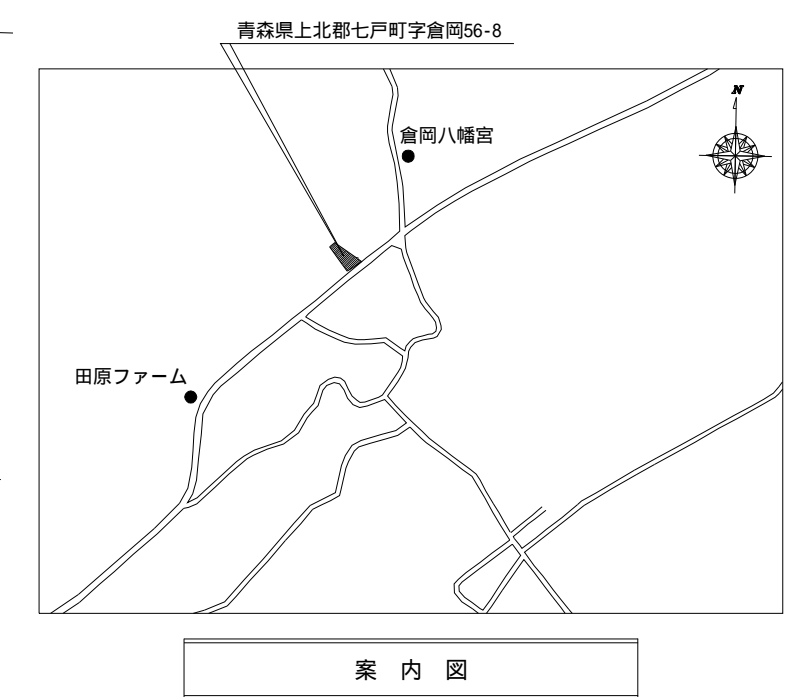
訂正 ----- ----- -----	〒034-0094 青森県十和田市西二丁目2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 一級 青森県知事登録 第397号  株式会社 <b>石川設計</b>	棟印	主任担当	担当	担当	N o .	工事名	図面番号	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
		長畑	櫛引	杉山	佐藤	2 5 5 3 - 0 0	倉岡生活改善センター等改築機械設備工事	M-01	
						設計年月日	図面名称	縮尺	
						R 8 . 3	機械設備 特記仕様書	N / S	

工事区分表		(他工事との取合い等)					区分は○印を適用する					A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 EV エレベーター設備工事					※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する																	
	項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考											
躯体関係								事務所廻り	ユニットバス・シャワーユニット			○				自家発電設備	エレベーター設備																	
RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○				既製浴槽			○					機械室・昇降路の躯体	○																
	貫通スリーブの補強	○							コンクリート浴槽	○								機械室の床開口	○															
	開口部の型枠・補強	○							浴槽排水金物			○							機械室の床配管ビット・蓋	○														
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○				洗濯機パン			○								機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○													
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画		フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○											巻上機周囲のチェッカープレート敷				○									
								フリーアクセスフロア給排気グリル	○						昇降路内ビット防水							○												
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔開口部	貫通スリーブ	○						フリーアクセスフロアコンセント		○												ビット点検タラップ				○								
	貫通スリーブの補強	○						壁・天井空調用給排気グリル			○												各階出入口穴あけ・同補強	○										
	開口部の型枠・補強	○						感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○															三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○						
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			消火器ボックス	○																昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○								
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上	○				ボード類、塗装のみ	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式																○				
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	壁・天井・床点検口	○				M・E用含む													昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○							
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台			○	○	○		駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ		○																	レールヒータ用の手元スイッチを含む	機械室天井・昇降路内フック取付	○					
	基礎	○						同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○																		ホール押釦・インジケータなどの壁開口		○					
	太陽光発電設備基礎	○						駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管		○																			機械室内換気設備				○	
	太陽光発電設備架台			○				同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○							エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（AC3相 200V50HZ）																	○	
その他	トラフ・ビット類（ふたを含む）	○						映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを組み込む電動ブラインド		○																		エレベーター制御盤までの一次側照明用配管配線工事（AC単相 100V50HZ）					○	
	RC造各種ビット	○						電動スクリーン及びボックス		○								エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（D種接地）														○		
	同上用マンホール・タラップ	○						電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線	○								エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事													○				
	排水溝	○						同上用1次配線及び1次・2次配管		○						エレベーター制御盤から非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事													○					
	オイルサービスタンの防油堤				○			避雷導体の接続		○									エレベーター制御盤からの館内放送用配管配線工事										○					
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○						笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○						エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配線工事（MDFからエレベーター制御盤まで）※図示された場合														○					
設備室内床排水管				○			ルーフドレン及びたてどい	○					エレベーター制御盤又は警報盤までの配管配線工事															○						
既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○				煙突の水抜き管（排水管）	○										エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事									○							
仕上関係								地震感知器の配管配線			○									緊急地震速報受信用配管工事				○										
								防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線		○							昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事							○										
								雨水排水設備	○							ビット内点検用コンセント設備工事							○											
軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○						くつ洗いの排水金物・排水管			○				エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）									○										
	下地材の切込み・補強	○						駐車場・車庫廻りのガソリントラップ	○					レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給）										○										
	開口部の墨だし	○	○	○	○			雑排水・汚水排水設備			○							動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事					○											
可動間仕切	切込み・補強	○						ハンドホール		○																								
	各種ボックス類	○	○	○				E・M棟で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上	○																									
吊りボルト及びインサート	設備機器類用			○	○			雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水溝までM）	○		○																							
給排気関係	外壁ガラリ	○						オイルタンク廻り	オイルタンク本体（充填砂共）		○	○																						
	防風板	○							オイルタンクの外郭、基礎			○		土工事含む																				
	ウェザーカバー・ベントキャップ				○				同上杭及び杭頭処理	○																								
	排気フード（標準詳細図によるステンレス製）				○																													
	排気フード（レンジフード等既製品）				○			ユニット型浄化槽	ビット型の躯体	○																								
水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○					厨房用はM					○																						
	手洗い・洗面器カウンター	○																																
	鏡（既製品）	○																																
	鏡（注文品）	○																																
	バリアフリースイッチ手すり・便器類手すり	○																																
	トイレブース内小物棚	○																																
	ペビーシート	○																																
この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。																																		

衛生設備器具表

メーカー記号は参考とし同等品以上とする。

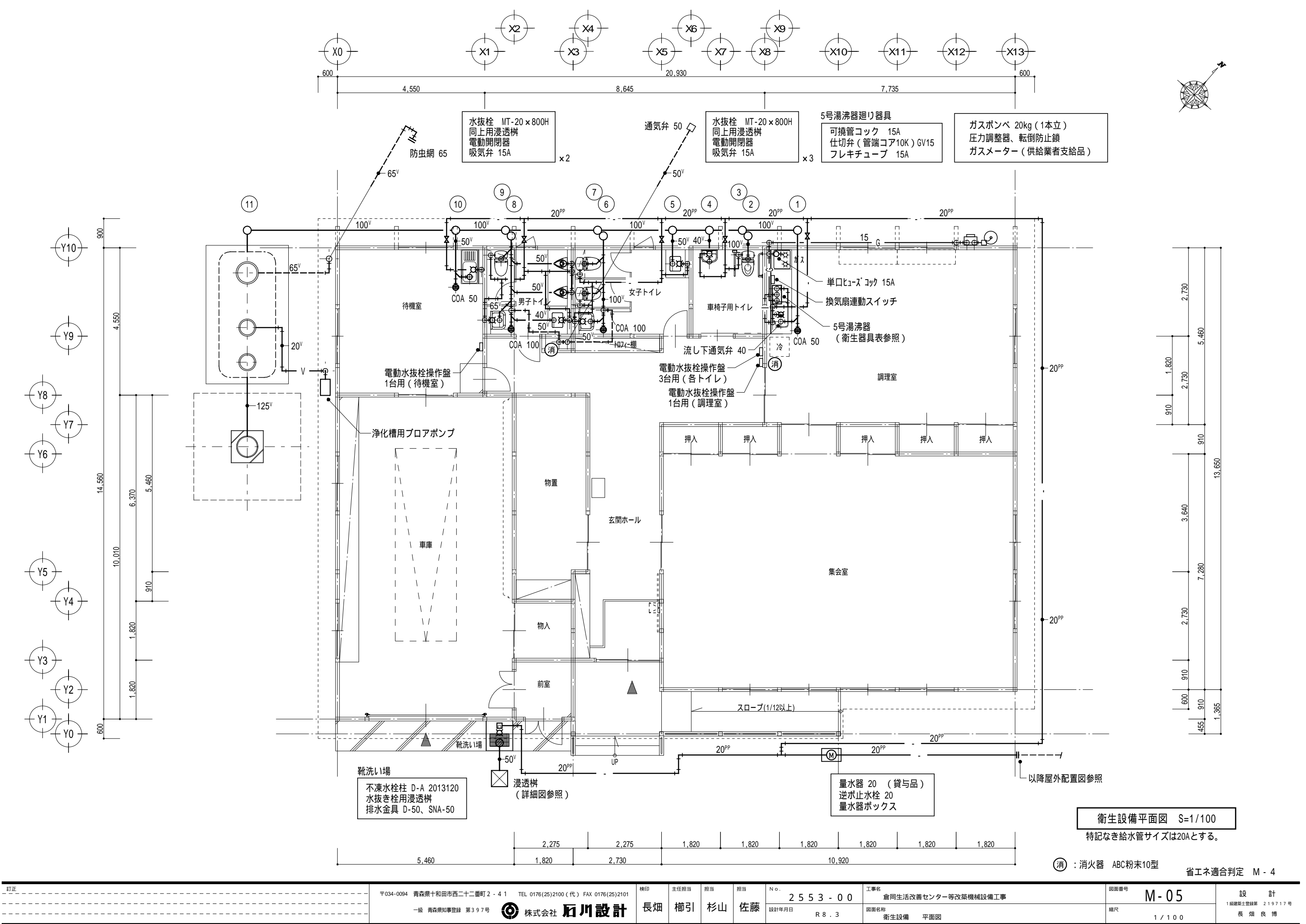
器具名称	仕様	参考品番 (TOTO)	合計	取付室名							備考
				男子トイレ	女子トイレ	車椅子用トイレ	調理室	待機室	靴洗場		
洋風便器	タンク密結式 手洗なし 洗浄機能付暖房便座 棚付二連紙巻器	CS230B,SH232BN,TCF5534,YH702	3	1	2						温水洗浄便座：AC100V×311W
身障者用洋風便器	タンク密結式 手洗なし 洗浄機能付暖房便座 棚付二連紙巻器	CS20AB,SS30BNKL,HE20JKR,TS90FAU,TCF5553PR,YH702	1			1					温水洗浄便座：AC100V×1260W
自動洗浄小便器	壁掛タイプ センサー一体形	UFS900R	2	2							自動洗浄：AC100V
はめ込み洗面器	アンダーカウンター式 容量 約9.0L 自動水栓	L501,TLE28SA1A、TLDP2201JA、T6BR、TL516GLR	2	1	1						自動水栓：AC100V
車いす用壁掛洗面器	自動水栓一体形電気温水器	L103A,T7SW9R,REAH03B1S41AK,TL347C1R,TL220D	1			1					自動水栓：AC100V
掃除用流し	バック付	SK22A,T23AEQ20C,T37SGEP,TN114,T9R,TK22	2	1	1						
洋風便器用手すり	建築工事		(1)			(1)					
はね上げ式手すり	建築工事		(1)			(1)					
化粧鏡	建築工事		(2)	(1)	(1)						
化粧鏡	建築工事		(1)			(1)					
洗面器用カウンター	870×600 ( 2 方向エプロン )	ML60R(L)870M,M9P50A( × 2 )	2	1	1						
湯水混合栓	シングルレバー、壁付け	TKS05316J	1				1				
横水栓		T130AUN13	1					1			
横水栓		T200SUN13	1						1		
ガス瞬間湯沸器	LPG、壁掛形、5号、先止め式、換気扇連動スイッチ		1				1				
台所流し	建築工事		(2)				(1)	(1)			



凡 例			
記 号	名 称	摘 要	
—— - ——	屋 内 給 水 管	水道用ポリ紛体ライニング鋼々管 (PB) (埋設はPD)	JWWA K 132
—— - ——	屋 外 給 水 管	ポリエチレン管	JIS K 6762
——   ——	給 湯 往 管	水道用ステンレス鋼々管 (SU)	JIS G 3448
————	屋 内 排 水 管	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
————	屋 外 排 水 管	硬質塩化ビニル管 (VP 但し100 以上はVU)	JIS K 6741
-----	通 気 管	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741

塩ビ桤リスト (汚水桤)

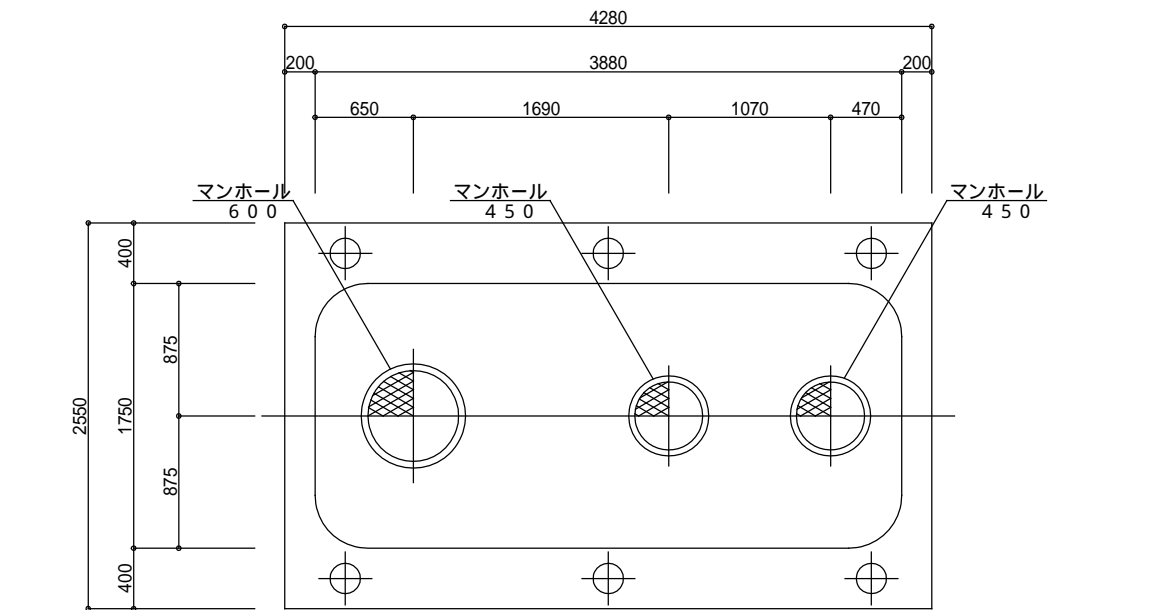
[illegible]



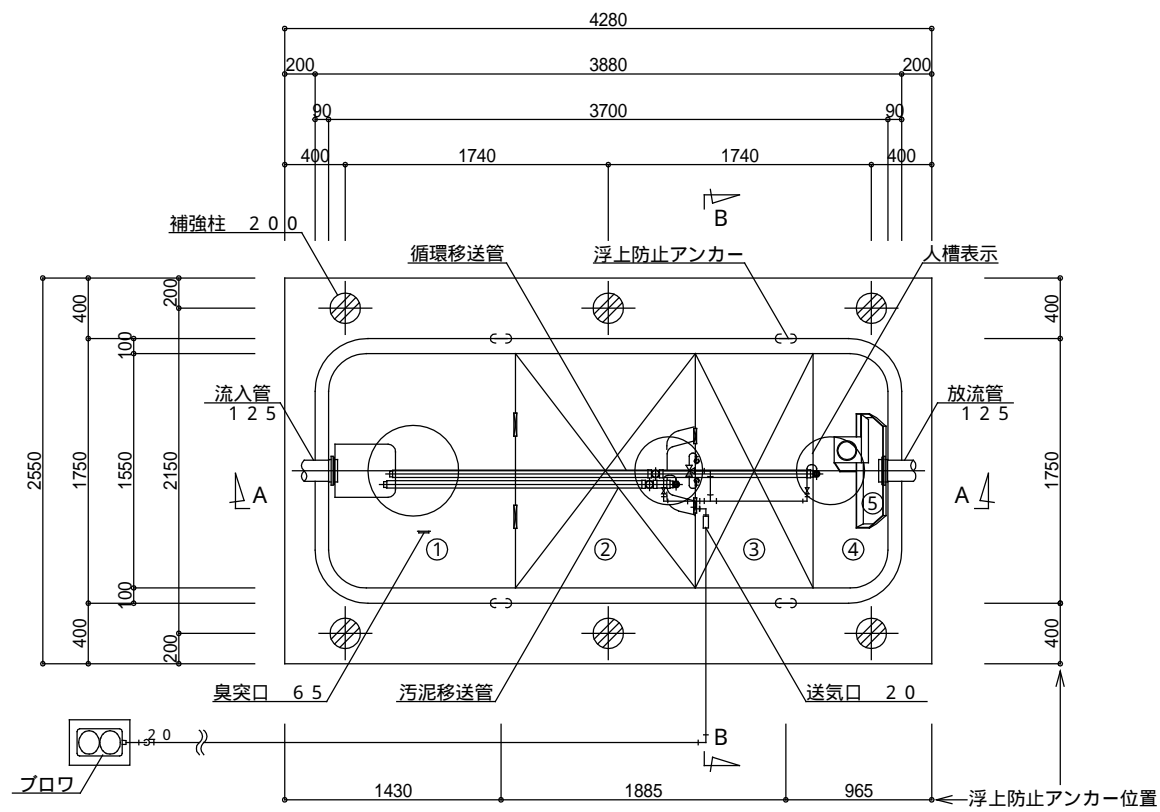
衛生設備平面図 S=1/100  
特記なき給水管サイズは20Aとする。

省エネ適合判定 M - 4

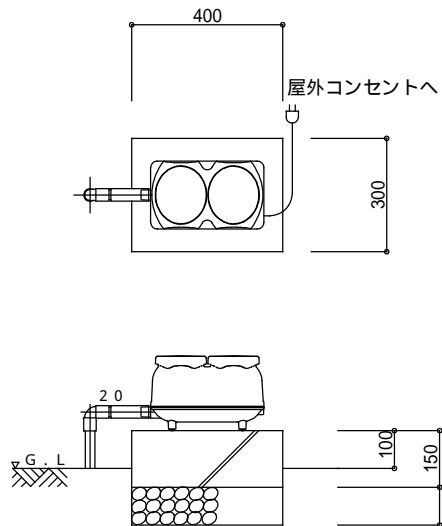
訂正	〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町 2 - 4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101	棟印	主任担当	担当	担当	N o . 2 5 5 3 - 0 0	工事名 倉岡生活改善センター等改築機械設備工事	図面番号 M - 0 5	設 計 1級建築士登録第 219717号 長 畑 良 博
	一級 青森県知事登録 第 3 9 7 号	株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	図面名称 衛生設備 平面図	縮尺 1 / 1 0 0	
						設計年月日 R 8 . 3			



スラブ平面図 S = 1 : 5 0

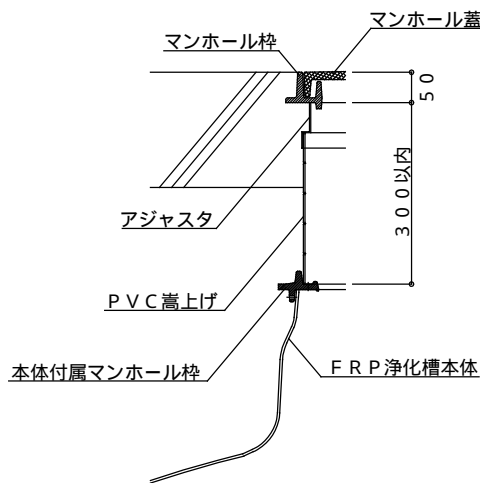


内部平面図 S = 1 : 5 0

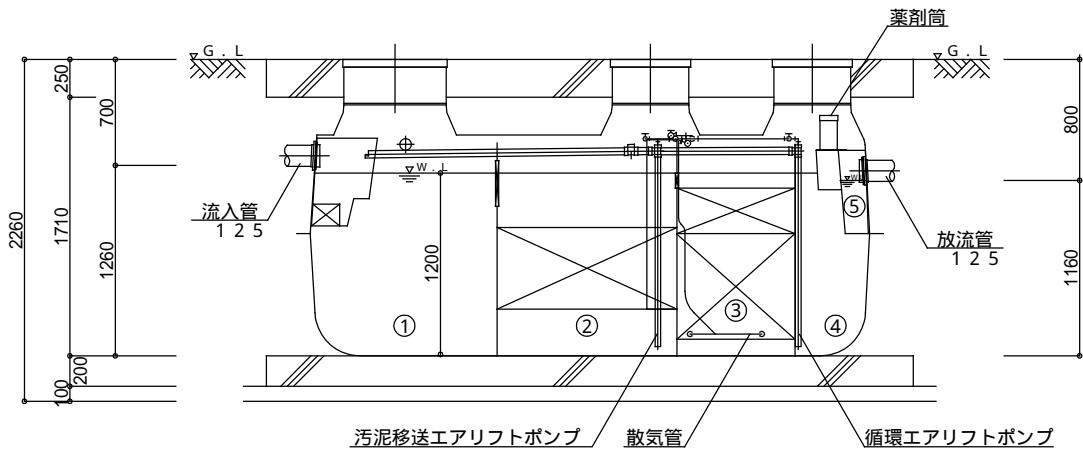


基礎寸法は参考値とする

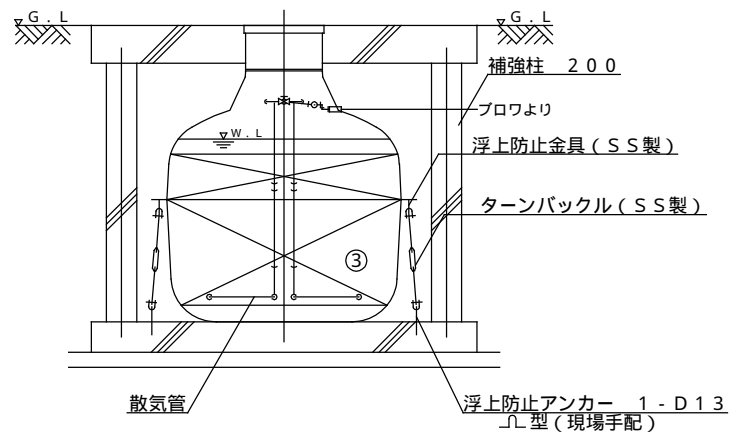
ブロワ基礎参考図 S = 1 : 2 0



アジャスタ取り付け図



A - A断面図 S = 1 : 5 0

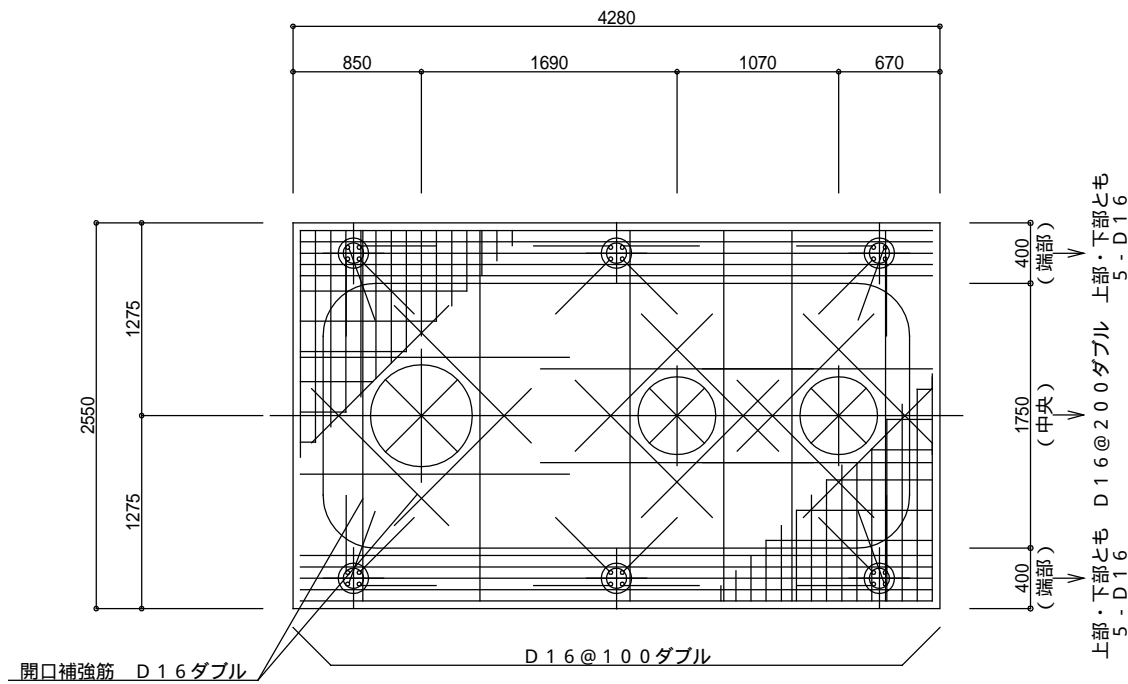


B - B断面図 S = 1 : 5 0

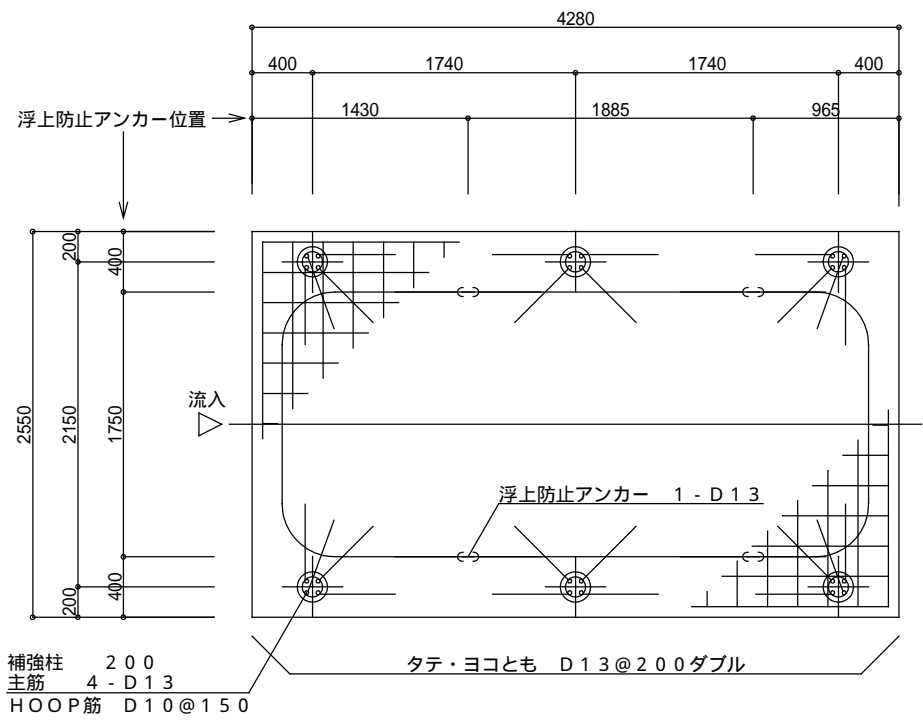
仕 様 表					
設計番号					
処理方式		接触ろ床方式			
型式名称		フジクリーン    C V - 2 1    型		吊上目安重量：3 9 0 k g	
処理対象人員		2 1 人			
汚水量		4 . 2 0 m 3 / d			
流入水質		B O D 2 0 0 m g / L	C O D 1 0 0 m g / L	T - N   4 5 m g / L	S S   1 6 0 m g / L
放流水質		B O D   2 0 m g / L	C O D   3 0 m g / L	T - N   2 0 m g / L	S S   1 5 m g / L
①	沈殿分離槽	有効容量		2 . 0 0 9            m 3	
②	嫌気ろ床槽	有効容量		2 . 0 0 7            m 3	
③	接触ろ床槽	有効容量		1 . 3 3 1            m 3	
④	処理水槽	有効容量		0 . 6 9 8            m 3	
⑤	消毒槽	有効容量		0 . 0 5 3            m 3	
総容量		有効容量		6 . 0 9 8            m 3	
機 器 装 置 仕 様					
ブロワ	吐出量	口   径	消費電力	運転方式	台数
	1 5 0 L / m i n	2 0	9 1 W	連続運転	1
槽本体	F R P				
パイプ類	P V C、P PまたはP E				
ろ材	P PまたはP E				
マンホール	鋳鉄（ 5 0 0 0 K ）    ボルトロック仕様				
消毒剤	固形塩素剤				

配管仕様	露出配管（ブロワ廻り）	V P
	土中配管	4 0 以下 ~ V P ・ 5 0 以上 ~ V U
	槽内配管	メーカー仕様

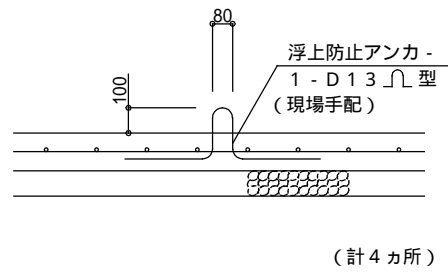
注 1）上部は 1 0 t 車（T - 2 0）荷重とする。



スラブ配筋図 S = 1 : 5 0



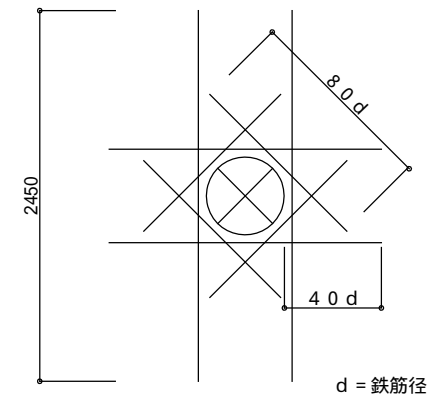
ベース配筋図 S = 1 : 5 0



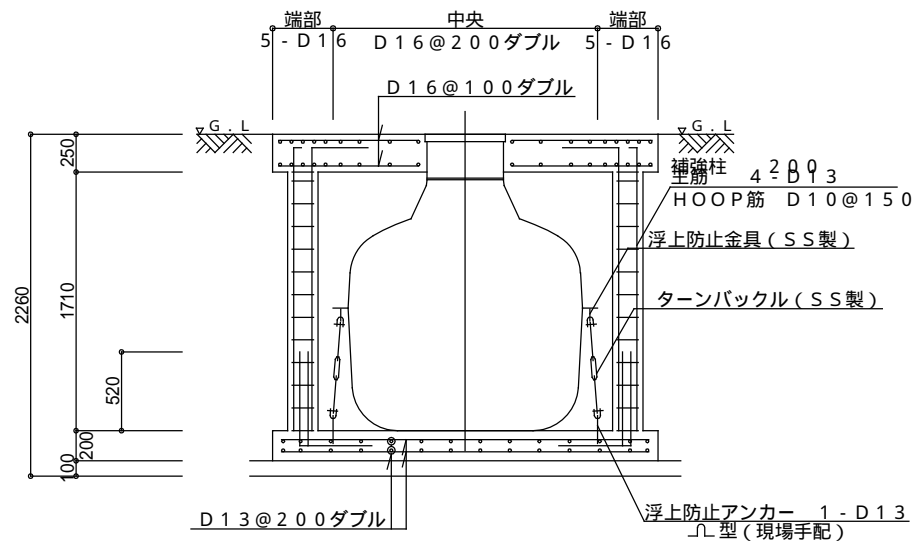
浮上防止アンカー詳細図 S = 1 : 3 0

一 般 事 項		
コンクリート	F c = 2 1 N / mm 2	
鉄 筋	S D 2 9 5	
鉄筋かぶり	スラブ 4 0	
	ベース 6 0	
定着及継手	4 0 d	
地 業	砕石又はR C	4 0 ~ 0

注 1 ) 上部は1 0 t 車 ( T - 2 0 ) 荷重とする。

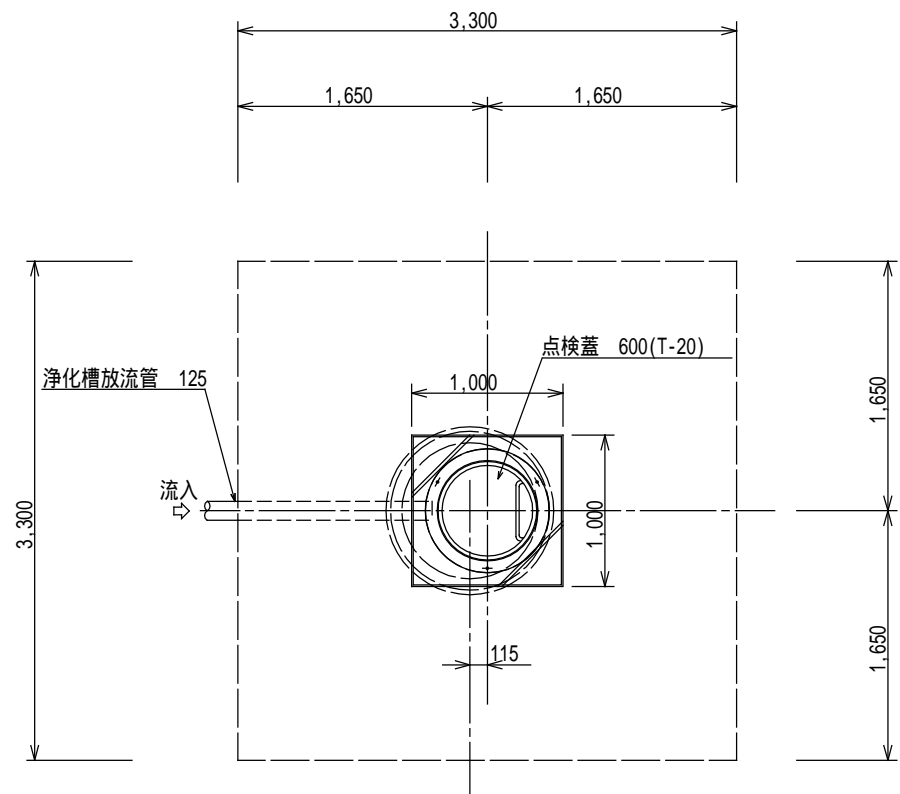


開口補強筋詳細図  
(ダイヤモンド補強 : D 1 6 ダブル)

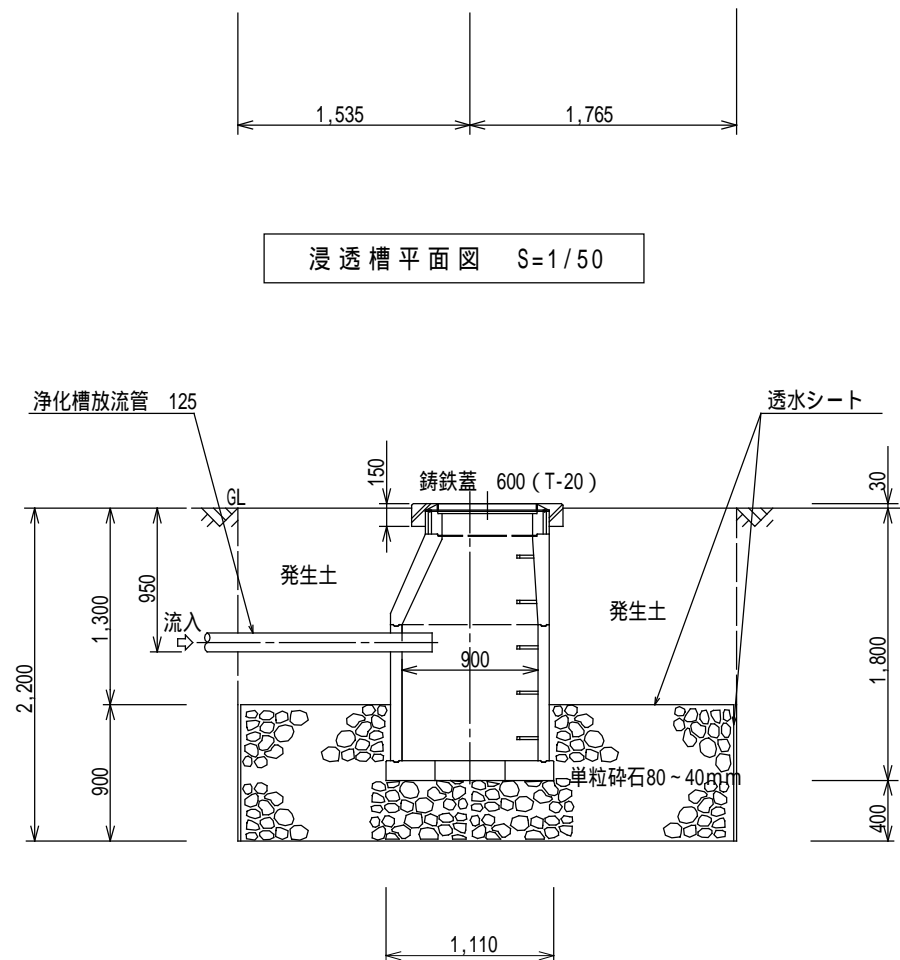


断面配筋図 S = 1 : 5 0



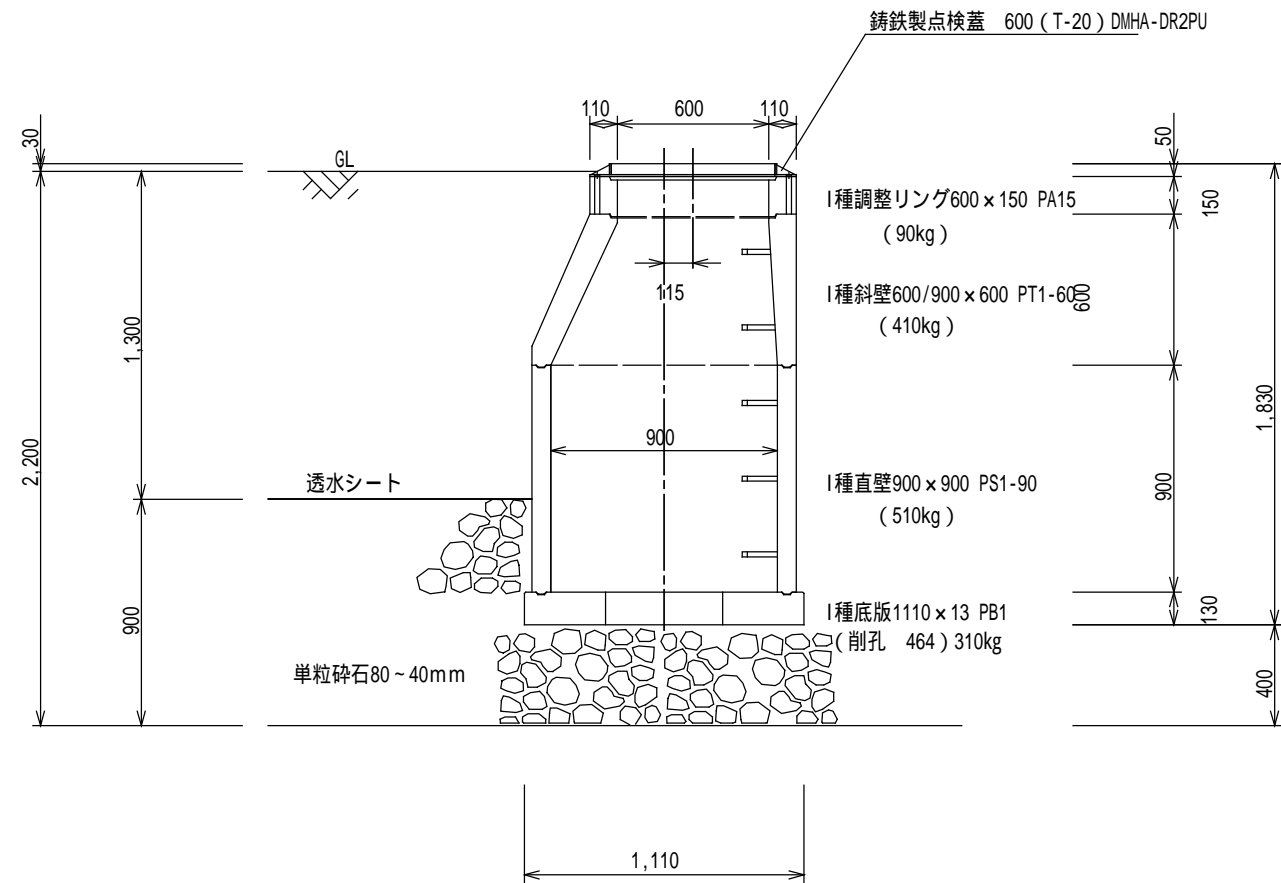


浸透槽平面図 S=1/50



浸透槽断面図 S=1/50

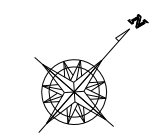
【地下浸透装置計算】	
汚水量	21人×200L/人・日=4,200L/日
底盤面積	GL-1,400～2,200H 1㎡当り、1分間の浸透能力を0.27Lとする。 4,200L/日 0.27L/min×60min×24H =10.81㎡以上とする。故に3.3m×3.3m =10.89㎡浸透面積とする。
浸透係数	土壌種類：（粒径0.01～0.05mm） 4.5 × 10 cm/sec(シルト) = 0.0000045 × 3600秒/時=0.0162m/Hr 1㎡当りの浸透量は 0.0162m/Hr1.0㎡=0.0162?/Hr =0.00027?/min =0.27L/min
備考	雨水浸透施設技術指針〔案〕 調査・計画編 出典:浸透型流出抑制施設の現地浸透能力調査マニュアル試案 (旧)建設省土木研究所 より



点検柵組立詳細図 S=1/30

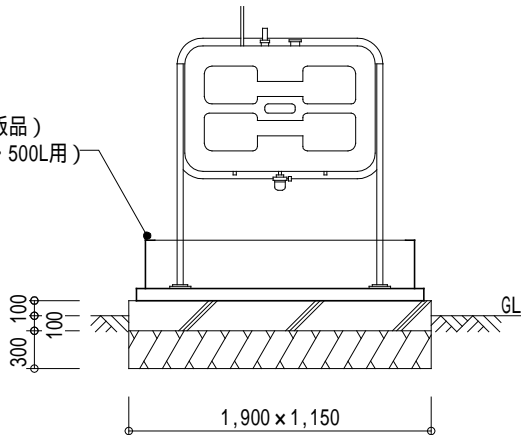
冷 暖 房 機 器 表		機器仕様は、メーカー標準とする。								
機器記号	名称	機器仕様	電気特性			数量	備考			
			相	電圧	出力					
			φ	V	W					
AC-1	空冷ヒートポンプ	型 式	オフィスエアコン、同時ツインタイプ	(最大)	3	200	5.79kw	1	PLZX-ERMP140HE5	
	パッケージ形空調機		4方向吹出しカセット形							
		冷房能力	12.5KW	(冷房時定格)			3.24kw			
		暖房能力	14.0KW	(暖房時定格)			3.43kw			
		(室内機)	送風機	0.05KW ×2台						
		付属品	リモコンスイッチ・ドレンアップメカ ・ 標準エアフィルター							
			防振吊り金物 ・ 振れ止め金具							
		(室外機)	圧縮機	2.6KW						
			送風機	0.2KW						
		付属品	銅製屋根付き架台(亜鉛鍍金製、500H以上)							
FF-1	温風暖房器	型 式	FF式石油温風暖房機(防火性能認定品)					1	FF-WG40SK	
		暖房能力	3.99KW		1	100	17			
		燃料消費量	4.59kw (0.45 l/h) 白灯油							
		付 属 品	給排気筒、給排気筒延長セット、延長管化粧カバー							
			給排気筒保護ガード、他標準付属品一式							
FF-2	温風暖房器	型 式	FF式石油温風暖房機(防火性能認定品)					2	FF-B74K	
		暖房能力	7.41KW		1	100	27			
		燃料消費量	8.52kw (0.86l/h) 白灯油							
		付 属 品	給排気筒、給排気筒延長セット、延長管化粧カバー							
			給排気筒保護ガード、他標準付属品一式							
FF-3	温風暖房器	型 式	FF式石油温風暖房機(防火性能認定品)					1	FF-B110K	
		暖房能力	11.0KW		1	100	34			
		燃料消費量	12.7kw (1.23l/h) 白灯油							
		付 属 品	給排気筒、給排気筒延長セット、延長管化粧カバー							
			給排気筒保護ガード、他標準付属品一式							
OT-1	オイルタンク	型 式	地上式ホームタンク					1		
		貯油容量	450 リットル (白灯油)							
		付 属 品	給油口、通気口、ストレーナー付オイルコック							
			架台、防油堤(アルミ製、耐震1.0G)							
			防雪タンクルーフ、危険物表示板、標準付属品一式							
PH-1	電気暖房器	型 式	SUS製壁掛式パネルヒーター			1	100	250	1	凍結防止用
		暖房能力	0.25KW							
		付 属 品	いたずら防止カバー、壁掛ブラケット							
PH-2	電気暖房器	型 式	SUS製壁掛式パネルヒーター			1	100	500	2	凍結防止用
		暖房能力	0.5KW							
		付 属 品	いたずら防止カバー、壁掛ブラケット							
※ FF暖房機の給排気筒は積雪を考慮しGLから1m以上高い位置に取り付ける。										
※ オフィスエアコンの冷房・暖房能力及び電気特性はJIS B 8616による。										

換 気 機 器 表		機器仕様は、メーカー標準とする。						
機器記号	名称	機器仕様		電気特性			数量	備考
				相	電圧	出力		
				φ	V	W		
HEU-1	全熱交換形換気扇	型 式	天井埋込形	接続ダクト径：100 φ			1	LGH-N15RX4
		標準能力	100m3/h×100Pa、(24時間換気時：30m3/h×50Pa)					
		付 属 品	SUS製深形フード 100 φ (×2)、給排気グリル 100 φ (×2)					
		防振吊金具、コントロールスイッチ(24時間換気対応)						
HEU-2	全熱交換形換気扇	型 式	天井埋込形	接続ダクト径：200 φ			1	LGH-N65RX4
		標準能力	720m3/h×100Pa、(24時間換気時：100m3/h×50Pa)					
		付 属 品	SUS製深形フード 250 φ (×2)、給排気グリル 200 φ (×4)					
		防振吊金具、コントロールスイッチ(24時間換気対応)						
FC-1	天井扇	型 式	低騒音形、サンタリー用				1	VD-15ZPC <sub>14</sub>
		標準能力	150CMH × 50Pa	1	100	20		
		付 属 品	SUS製深形フード150 φ (ガラリ付)					
FC-2	天井扇	型 式	低騒音形、サンタリー用				2	VD-18ZC <sub>14</sub>
		標準能力	200CMH × 50Pa	1	100	26		
		付 属 品	SUS製深形フード150 φ (ガラリ付)					
FC-3	天井扇	型 式	低騒音形、サンタリー用				1	VD-20ZC <sub>14</sub>
		標準能力	250CMH × 50Pa	1	100	44		
		付 属 品	SUS製深形フード150 φ (ガラリ付)					
FC-4	天井扇	型 式	低騒音形、インテリア格子タイプ				1	(湯沸器と連動) VD-20ZXP <sub>14</sub> -C
		標準能力	400CMH × 70Pa	1	100	54		
		付 属 品	SUS製深形フード200 φ (ガラリ付)					
RF-1	レンジフードファン	型 式	ブース形(600幅タイプ)、24時間換気機能付				1	V-604KD <sub>8</sub>
		標準能力	450CMH × 80Pa(24時間換気時：50CMH×20Pa)	1	100	79		
		付 属 品	SUS製深形フード200 φ (ガラリ付)					
FW-1	有圧換気扇	型 式	電動シャッター付格子タイプ 350 φ				1	EFG-35KSB <sub>2</sub> -W
		標準能力	2,000CMH×20Pa	1	100	85		
		付 属 品	ウエザーカバー(SUS)、防鳥網、スイッチ					
※ 換気ファンの電動機出力はJIS C 9603に規定された消費電力による。								

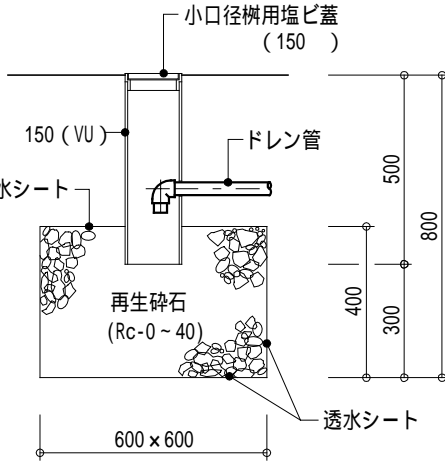


【給油配管要領】

- 1、特記なき油配管は外壁（基礎部）支持とする。
- 2、埋設する油配管は外面被覆銅管とし、接合部は溶接配管とする。  
（接合部はペトロタム系防蝕テープ+プラスチックテープで防蝕処理を施す。）
- 3、油配管（主管）とオイルコックの接続管は被覆銅管8 とする。



オイルタンク据付要領図 NO SCALE



浸透樹詳細図 S=1/20

冷暖房設備平面図 S=1/100

冷媒管は冷媒用被覆銅管（ガス管の保温厚20mm以上）とする。

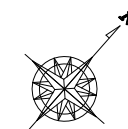
ドレン管は硬質塩化ビニル管VP20 とする。（屋内は保温付とする。）

屋内外露出の冷媒管は化粧カバー（100×70）で保護する。

屋内機と屋外機の2次側配線は電気工事とする。

訂正		〒034-0094 青森県十和田市西十二番町 2 - 4 1    TEL 0176(25)2100（代） FAX 0176(25)2101	検印	主任担当	担当	担当	No.	工事名	図面番号	設計	
		一級 青森県知事登録 第 3 9 7 号	 株式会社 石川設計	長畑	櫛引	杉山	佐藤	2 5 5 3 - 0 0	倉岡生活改善センター等改築機械設備工事	M-10	
								設計年月日	図面名称	縮尺	1級建築士登録第 219717号 長畑良博
								R 8 . 3	【集会所】 冷暖房設備 平面図	1 / 1 0 0	

省エネ適合判定 M-2



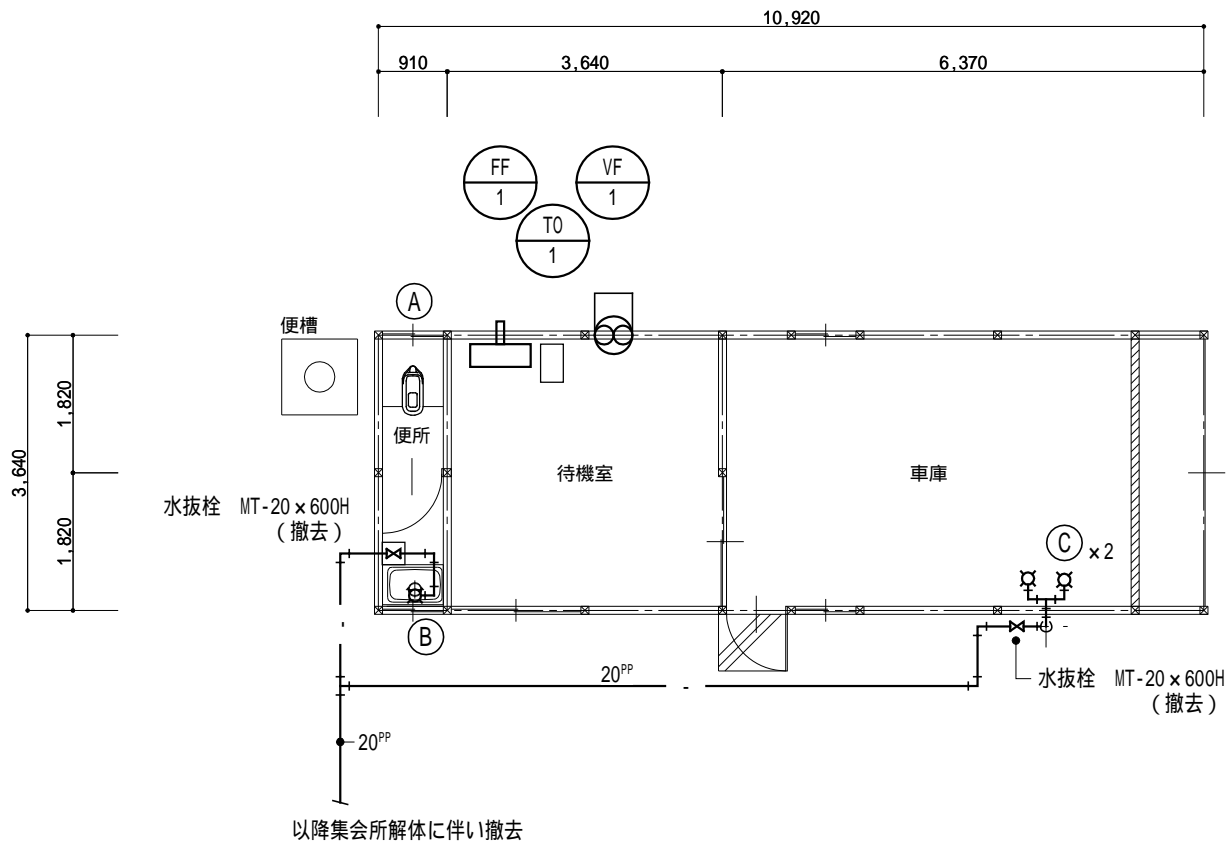
火気使用室に於ける国土交通省告示第1826号に依る換気計算		
火気使用室名	調理室	
ガス種別・排気方式	L P ガス・直接換気方式      4 0 K Q	
ガス器具名・消費量	双口コンロ：8.6KW	
必要換気量	$V = 40 \times 0.93 \times 8.6 = 320 \text{ CMH}$	
設計換気量	レンジフードファン（RF-1）	450CMH
有効換気の判定	320      450      O K	

衛生設備 撤去器具表

設置場所	記号	名 称	付属品・その他	台数
便 所	Ⓐ	非水栓和風大便器		1
流 し	Ⓑ	横水栓		1
車 庫	Ⓒ	横水栓		2

暖房・換気設備 撤去機器表

記号	名 称	メーカー名	型番	仕 様	外形寸法 ( m m )	重量 ( kg )	台数
VF-1	壁用換気扇	西部電機	SL-20SL	20 c m 引きひも形	350 × 350 × 150	3.0	1
FF-1	石油暖房機	-	SH-110		700 × 500 × 300	25.0	1
T0-1	石油タンク	-	-	容量：20リットル	500 × 300 × 200	5.0	1



機械設備撤去平面図 S=1/50

建物解体に伴い機器、器具、配管類、保温材の撤去を行う。